

竜丘の課題はこれだ！ — 市政懇談会開かれる —

去る十一月三十日竜丘公民館で、竜丘地区市政懇談会が自治協議会など各団体の代表約七十名が出席し開かれた。市側からは、各担当課長と竜丘が各地区最終日に当たつたため市長も出席した。

懇談会では、事前に検討された、地区の課題が五項目提出され、市側から各担当より説明がされた。

一、白井原工業団地計画について一発表から一年が過ぎ、団地も様々な面から検討を重ねてきた。現在地権者の九二%の同意を得た。今後地権者が自由に意見を出し合える懇話会をつくり市とのパイプ役としたい。又、出来るだけ早く理解を得、造成したい。

二、下水道整備計画について一現在実施可能な計画を検討中、各事業の区分、処理場の位置等未確定。

三、竜丘公民館建設について一現在の公民館は築二十一年である。山本は建て換えたが、ここは山本旧公民館よりしっかりしている。

緑中の改築等の大事業が重なっている。公民館の移転案も出ているが、改築の際スムーズにいく準備をしておく欲しい。

四、天竜川治水対策事業について一手法、事業区域決定等地元と意見を交えていきたい。J



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 22-5353

人口 6,621人
男子 3,245人
女子 3,376人
世帯数 1,923戸
(6年12月末現在)

Rの移設も早急に実施に向けて話を進める。

建設省は築堤事業を平成八年度から始めたいと言っている。それに合わせて事業を進めたい。

五、道路整備事業計画について一市道六十五号線は用地買収は完了、完成は平成九年度となる。

又、地元から白井原工業団地について『反対している地権者への対応を誤らな

平成七年の年頭にあたり

子どもたちの幸せを願って
竜丘公民館長 田中興



今日生涯学習の時代となつてすべての人が生き甲斐ある充実した人生を送るため、青壮年から高齢者まで多くの大人たちが、ニーズに応じた学級、講座、クラブ等に参加しています。これは戦後五十年平和日本がもたらした、大きな恩恵であることに異論はないと思えます。

ところで昨年末大河内君の自殺をきっかけとして問題になったいじめは、今後いづれの地においてもおこり得ることは否定できません。飯田市議会より教育委員会に対して対策を要請されたことは当然と思えますが、これだけで解決されるものでないことは明らかであります。

子どもの成長発達過程

子どもたちの成長発達過程

駄科青年会が中心となつて活動している鈴岡太鼓、昨年二月の駄科地区文化祭での初披露を皮切りに、この一年間十回を数える公演をこなし地元の大鼓としてその活動も定着化に向かつて来て

長野五輪開会に響け!!

鈴岡太鼓子供連誕生

昨年十一月には同地区の小学生を中心とした「子供連」

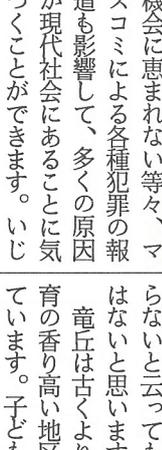
もスタートし、二月の駄科地区文化祭での発表に向けて練習が進められて

この子供連が生まれるきっかけは、お父さん達の大鼓の練習について来た子供連から始まった自

然とのふれ合いの少ないことから生命の尊厳に気づく機会に恵まれない等々、マスコミによる各種犯罪の報道が現代社会にあることに気づくことができます。いじめに参加した子どもたちが「いじめめることは面白かった」というように、人間としてのいたみ悲しみも感じています。

力を合わせて

常会交流綱引大会



去る、十一月二十日、竜丘小学校体育館において、竜丘地区常会交流綱引大会が開催されました。

この大会には男子二十一チーム、女子二十チームの計四十二チームが熱戦を繰り広げました。

予選リーグは一本引き、決勝リーグは二本引きで行われましたが、選手はもちろんだん応援もついで力が入

結果は以下のとおり

然発生的なもので、育成会の協力もあり地元の子供連に希望者を募ったところ二十数名の希望があり十一月に正式なスタートとなった。毎月第二土曜日の午前中小学校体育館で鈴岡太鼓のお父さん達の指導で練習が

力を合わせて

常会交流綱引大会

去る、十一月二十日、竜丘小学校体育館において、竜丘地区常会交流綱引大会が開催されました。

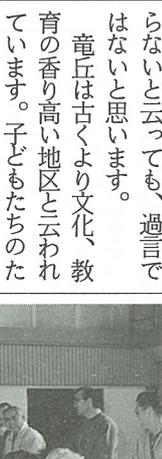
この大会には男子二十一チーム、女子二十チームの計四十二チームが熱戦を繰り広げました。

予選リーグは一本引き、決勝リーグは二本引きで行われましたが、選手はもちろんだん応援もついで力が入

結果は以下のとおり

力を合わせて

常会交流綱引大会



去る、十一月二十日、竜丘小学校体育館において、竜丘地区常会交流綱引大会が開催されました。

この大会には男子二十一チーム、女子二十チームの計四十二チームが熱戦を繰り広げました。

予選リーグは一本引き、決勝リーグは二本引きで行われましたが、選手はもちろんだん応援もついで力が入

結果は以下のとおり

結果は以下のとおり



天までひびけ太鼓の音

やれ引け！ それ引け！

「地震、雷、火事、おやじ」昔から恐いものの代名詞とされてきた。もっとも最近おやじは、ベストテンから外れたとの声も聞かれるが、先頃関西地域を襲った「阪神大震災」は、大都市直下型の地震として、自然災害の恐ろしさを見せつけるものとなった。

報道機関が現場の状況を伝える折、何かにつけ「政府の対応の遅れ」「建造物の耐震性」などの観点に非難が集中するが、被害を大きくした要因はもっと別のところにある様に思われる。

確かに政府の対応が迅速だとは思えぬが、現在のたて割り行政の中では仕方ない点もあろう。

現在、地震予知は海底プレートにより発生する「東海地震」のみ可能で、今回の様な内陸の活断層が要因の場合は困難らしい。それでは日頃より防災システムを整えておけば、被害を最少限に防げるのではないかと、今回の地震では火災が被害をより大きなものにしたが、地震直後に火災が発生するのは仕方ない面もある。

しかし日常的に自治体消防に対する期待が大き過ぎるために、万一の際の初期消火が遅れた事が残念な結果となった。

現在の市民生活は、大都市を中心に、こと災害に関しては行政に任せ切りの面が多い。これを機に家庭、地域、職場で「リアルタイム防災」を徹底し、ライフラインと言われる電気、水道、ガスが不自由な生活に備えるべき、市民レベルでの防災意識が不可欠だろう。

地震の時は、竹やぶが安全と言われるが、日頃の備えが心の中に、竹やぶをつくるのではないかと

結果は以下のとおり

結果は以下のとおり

結果は以下のとおり

結果は以下のとおり

結果は以下のとおり

文化の華にぎやかに 一日頃の成果一堂に

去る十一月十二日、十三日の二日間、竜丘小学校を会場に恒例の「竜丘地区文化祭」が開催され、日頃の活動の発表に大勢の来場者を集め、盛り上がりがあった。

開催中は晴天に恵まれ来場者は二日間で約七百五十名にのぼりました。十二日の土曜日は午後から展示公開・子ども広場・喫茶が催されました。子ども広場は校庭で「わんぱくギネス」が開かれ、種目は「紙ひこうき飛ばし」、「は



力作がそろった展示品

きもの飛ばし、「ソフトボール投げ」の三種目で男女別に小学校低学年・高学年の四つのグループに分かれて記録に挑戦しました。日頃から外で遊ばなくなつた現代っ子が増えています。この日は思いっきり記録に挑戦し元氣な声が校庭

に響きわたっていました。いつも体験する事が少ないようなので、その意味でも良い機会になった様です。毎年土曜日の展示を見る人は少なかつたですが、今年例年になく多くの人が見に来ました。十三日の日曜日は午前十時から始まりました。午前中は不用品バザー・野菜販売など多くの人で賑わいました。古墳見学会は今年も御嶽堂と馬背塚の見学が行われました。その後、古代食試食会を催し「あわもち」を来た人達にふるまいました。日々の生活では食べたことのない物なので、皆珍しそくに試食しました。郵便局では例年の切手販売の他に絵手紙教室が開かれました。参加者は馴れない手つきでしたが一生懸命に作っていました。校庭では、鈴岡大鼓の勇壮な披露があり餅と宝投げは多くの人が集まり、婦人会と青年会による喫茶コーナーも評判が良く大変賑わいました。

青年の主張

今年の春、いよいよ私も成人を迎える事となりました。ついこの間までは、全く他人ごとの様に思っていたのですが、この私も成人の仲間入りさせて頂く事となり、まず、「成人」についての意味を考えてみました。

「成人」になる事の意味



時又 坂井 恵美子

辞書には、成人とは「心身が完全に發育して一人前になった者」とありました。「完全」とは、どのようなことをいうのでしょうか。「一人前」とは、どの様なことをいうのでしょうか。が、今の私にはあっているアルバイトをしている。しかし、いつまでも、そんな事ばかり言っている暇はありません。就職も決まっておばさんに見せないと買えませんよ」と言っていて、私の立っているレジの所まで来たのです。その時、私は、おばさんと言われ、驚きやら、悲しさやら、複雑な気持ちでした。見かけだけで、成人、いやそれ以上に見えたのでしようが、私は見かけだけでなく、人として中身も立派な「成人」に、これからは頑張っていくと思ひます。

はたちの門出を祝う

一 竜丘地区成人式開催される

一月十五日の成人の日、竜丘地区成人式が開催され、該当者の六十七人が出席しました。午前十一時の開会前、会場となった小学校体育館前には、晴着を着た女性やスーツに身を固めた男性で、華やかな雰囲気になりました。

最後に全員で記念写真を撮り、約三十分で閉会となりました。新成人の皆さんは、飯田市成人式へ出席するため、バスで飯田文化会館へ向かいました。式に参加していた新成人の皆さんは、「成人式に出席できて嬉しい」、「先輩の皆さんのすばらしい大鼓がよかった」、「これからは自分の生活に責任をもつて生きていきたい」、「選挙権をしっかりと行使

今年度は展示場所の変更もあり、各分館展示やグループ活動などの発表は、体育館で行なわれました。広い展示スペースのため、工食用足場やコンテナをうまく利用し、手際良く準備されました。目を引いたのは上川路菊の会より出展された見事な大輪の菊の数々、日頃の手入れの苦労が感じられました。その他の展示物いずれも力作が多く、目を見張りました。

全体的に展示の配置を変えるなど工夫が見られた反面、基本的な催し物が数年変わっていない点は検討していく必要があります。運営にあたられた多くの方々のご苦労に感謝し、日頃の文化活動の発表の場と位置付け、益々の発展を期待します。

みんなで楽しく!! ミルキーキッズ

今回紹介する「ミルキーキッズ」は乳幼児とお母さんの集まりで、現在子供三十七名、お母さんが三十一名で毎月一回(月曜日は竜丘公民館、階リスマス会といった催しやの大会議室を使って活動をしていきます。

この会がきっかけは、二年前程前の乳幼児検診のおり、「近くに子供が少なくて適当な遊び相手がないね」というお母さんの声から始まりました。そんなお母さんが子供と共に遊び育ち合えばと声をかけ合い少しずつ集まり仲間も増えてきています。そんな中で乳幼児を持つ

つお母さんのネットワークができてきています。内容としては、子供たちと一緒に工作をしたり、簡単な遊びも行なっています。又お誕生日会や七夕会、クリスマス会といった催しや近くの公園までの遠足などをしています。

「今後もみんなでアイデアを出し合って、お母さん達も子供達と一緒に楽しい会にしていきたい」と言う代表の中島さんのお話



サンタさん 私にも

はりきってます!! 時又白寿会

創立三十五周年を迎え

時又老人クラブ「時又白寿会」は、平成六年度に創立三十五周年を迎えました。現在、竜丘の老人クラブは竜丘老人学園と呼ばれ、駄料には二グループあり、他は各地区一つのグループの合計六つの会があります。竜丘全体の活動もあります。が、主には地区ごとの活動が中心に行なわれています。白寿会の活動は、年度当初に年間の事業計画を定期総会で承認して行なわれます。月ごとでは、毎月時又八王子神社の境内清掃をして例会が行われます。健康教室や、スポーツ大会、親睦旅行と、月ごと予定が組まれないかな忙しそうです。地区のお祭りも作業を受け持ち、活動しています。

現在時又白寿会は、九十余名の会員のうち、五十名位の人が活動に参加しています。

今年度が創立三十五周年になるということで、年度の初め、秋頃に記念行事をと話が進められていき、十一月に記念祝賀会が開催されました。それに合わせて今迄の活動を振り返る意味で記念誌が発行されました。また、祝賀会では、創立以来からの思い出話に大いに盛り上がりました。各地区の老人クラブでも新しい仲間の方を待っていると思ひますが、時又白寿会でも、いっしょに活動していける新しい仲間を求めています。入退会は自由なので「希望の方はいつでも」と会長さんが話してくれました。会の御発展をお祈りします。



素敵な記念日! 話はずんで